

鎌倉商工会議所 令和5年度経営発達支援事業
成果・評価・見直しの結果について

去る令和6年8月27日、「経営発達支援計画評価・検証委員会」を開催し、令和2年3月に経済産業省から認定された経営発達支援計画に基づき当所で実施した令和5年度経営発達支援事業について実績報告を行い、事業の成果に対する評価・アドバイスをいただいた。上記委員会の評価・アドバイスを受けて、次年度の事業実施における改善点を検討、下記の通りそのポイントを確認した。

【委員会の評価】

事業計画作成支援とフォローアップ、特にフォローアップについては頻度も含めて丁寧にやっけていただいております、今後もフォローアップが益々重要になってくると考えています。

令和5年度の数字を見て、「稼ぐ力」の強化に力点を置いた、経営発達支援事業に真摯に取り組んでこられた成果が出ており、数値目標に関しては十分に実績を積み上げられている。

【今後の方針】

これまで、個社支援のアウトカム（成果）である売上・粗利に関する成果が一定程度出ているため、基本的には今年度もこれまでと同じスタンスで事業を実施していく考えである。ただし、今後も継続的なアウトカムを出し続けていくため、主に以下に挙げる2点について更なる改善をしていく方針である。

①高く売る力、及びWEBマーケティング支援力の強化

令和6年度は、高く売る力及びWEBマーケティング支援力の強化のために、以下のセミナーを実施します。

「SNSに活用できる写真の撮り方セミナー（全2回）」

「インバウンドセミナー」

「プレスリリースセミナー」

コロナ禍でインバウンドセミナーは開催をしていませんでしたが、円安の影響で鎌倉を訪れる訪日外国人客は急増しており、インバウンド需要を取り込むことが極めて重要です。そこで、令和6年度はこのインバウンド需要を取り込むセミナーを開催します。

②生産性向上及び省力化を図り「稼ぐ力」を強化する計画策定支援

国及び神奈川県では、人出不足に対応するために、省力化投資補助金（国）、生産性向上促進事業費補助金（神奈川県）を創設しました。

物価高騰や人出不足解消のためには、「生産性向上」「業務効率化」「省力化」が必須と国及び神奈川県は考えています。

「機械で出来る作業は機械で行う」「極力人の手を介在させない」ことにより、「生産性向

上」「業務効率化」「省力化」支援を実施して、「稼ぐ力」の安定・強化を支援します。

重点課題は以上の2つですが、令和5年度に日本政策金融公庫横浜支店と事業承継支援に関する覚書を取り交わしており、令和6年度同様に引き続き関係機関と連携を図りながら事業実施を行う。

最後に、月2回経営指導員がミーティングを行い、実施状況について進捗管理を行う。

「事業者のお役に立つ」事が商工会議所の一丁目一番地であると思いますので、「商売繁盛」を目標に今後もしっかりと支援を実施します。

以上